

2019 年度 F D 実施計画書

研究科	栄養科学研究科
F D 取り組みへの理念・目標	
<p>先端的、かつ国際的レベルでの栄養科学の教育・研究を行い、実践を重んじ、専門的知識と技術を備えた栄養科学領域の研究者、指導者並びに実践者の養成を目的とし、授業の内容及び方法の改善と、世界に通じる研究レベルの向上を図るための組織的な研修及び研究を実施することを本研究科のFD推進の目標とする。</p>	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
3 月研究科委員会後実施	<p>博士前期・後期課程の教育・研究向上のため栄養科学領域の研究者、指導者並びに実践者の養成を目的とし、教育・研究の内容の充実を目指して教員の研究力・教育力の涵養をはかり、平成 30 年度に実施した FD 活動を継続・発展させる。またグローバル化に対応するため教員の能力向上を図る。</p> <p>① 教員の研究指導力・教育力の涵養</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課程修了時だけでなく、在学時にも大学院における学修について記述式のアンケート（無記名）を 1 月から 3 月に実施し、アンケート結果を教員に公開して、研究指導および教育の改善に反映されるようにする。 ・ 平成 29 年度より導入した学位論文複数指導制の効果的な運用を図る。 <p>② 教育内容・方法・環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な学位授与を促進するために平成 30 年度に試験実施したリサーチワークの中間発表会を本年度も 6 月 13 日に実施し、大学院教員の全員参加とし院生への積極的な助言を求める。 ・ 学修についてのアンケートで要望のあった他学年や他大学との交流について、三大学連絡協議会等を利用して各教員がアイデアを出して積極的に取り組む。 ・ 地域ニーズに対応したリカレント教育を目指して、博士前期課程のコースワークに社会人の再教育を念頭とした魅力的な教育プログラムを企画・検討する。 <p>③ グローバル教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人学生の積極的な受け入れや、海外での学会発表などを積極的に行うように奨励し、英語での授業や研究指導ができるように教員の能力向上を図る。 ・ 英語のプレゼンテーション能力の涵養を目的としたコースワークの創設を検討する。